

～日本のユース世代と共に世界へ～

ユース水フォーラム2024

ご協賛概要

2024年6月25日 日本水フォーラム（認定NPO法人）

ビジョン：ユースが国内外の流域社会の一員となり、地域のまちづくりに社会的インパクトをもたらす

(1) 初年度の経緯・実績：人材育成・啓発事業「ユース水フォーラム」を開始
2021年3月22日(国連「世界水の日」)に、「ユース水フォーラム・九州」を発足。九州地方8県の高校生世代に動画制作を通じてご参加頂くプラットフォームとなることを目指し、活動を開始。[第4回アジア・太平洋水サミット](#)の熊本での開催(2022年4月)を契機に、その関連事業としてスタートしました。動画応募16校30作品。内8校が同サミットに公式参加。

- (2) 2022年度の実績：日本全国の高校生世代が集うプラットフォームへ
- 動画募集対象を日本全国に拡大(動画応募20作品。2か年合計50作品)
 - [雄物川流域\(秋田県\)にてエクスカーションを実施](#)、教材配布(参加者16名)
 - [シンポジウム『水未来会議2023』を開催](#)(2023年2月、参加者約200名(オンライン含))
 - [国連水会議に公式参加](#)(UN Water Conference 2023、2023年3月、NY国連本部)

- (3) 2023年度の実績：海外の高校生世代にもアプローチを開始
- 動画応募33作品。3か年合計83作品
 - [国際交流イベント「ユース水フォーラムアジア」初開催](#)
(2023年11月、参加者約120名)
 - 第10回世界水フォーラム(世界最大級の水関連国際会議。2024年5月、インドネシア・バリ)への参画を準備



2024年6月

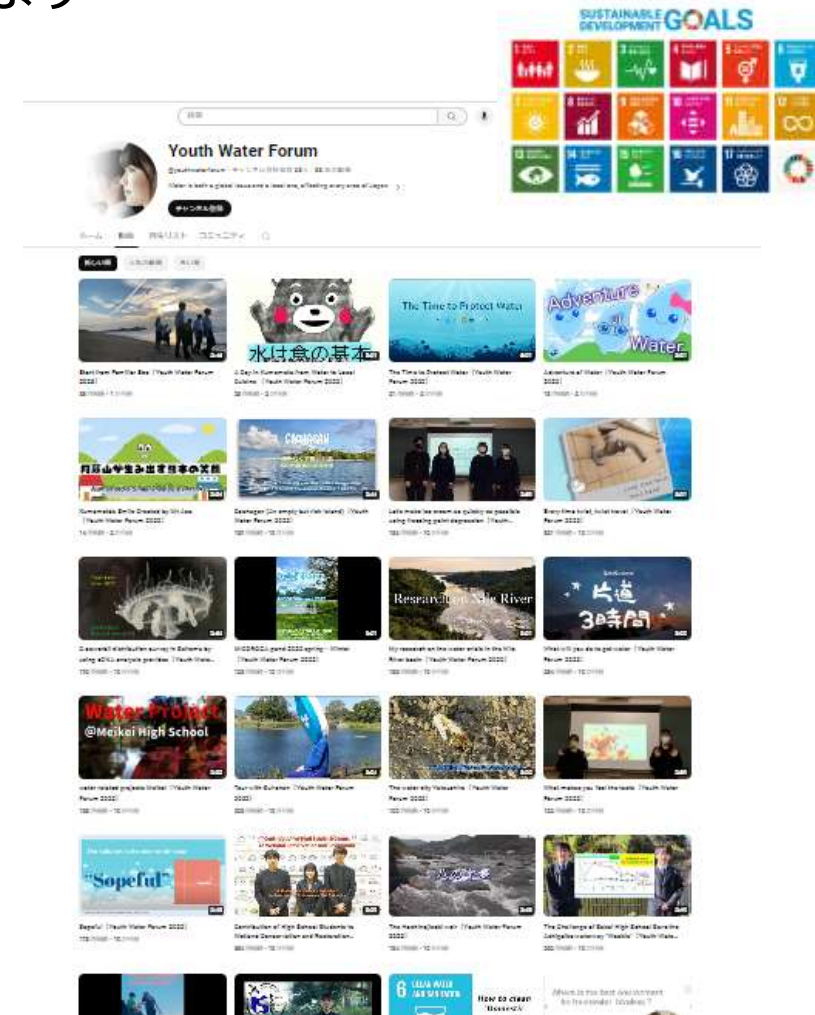
日本全国ならびにアジア太平洋地域への更なる普及を目指します

<2024年度(4年目)の活動予定>

- 高校生世代の皆さんに、短編動画(英語、3分)を制作し応募して頂く(募集期間:2024年6~12月)
- 第10回世界水フォーラム(2024年5月、インドネシア・バリ)へ公式参加
- シンポジウム「水未来会議2024」を開催(2024年8月10日、都内+オンライン)
- 国際交流イベント「ユース水フォーラムアジア」を開催(2024年度後半開催予定)
- 水の観点から持続可能な社会を考える教材/学習コンテンツを制作発行(2024年度末発行予定)

<中期目標案(2024~2026)>

- ユース水フォーラムを高校生世代をはじめとした若手のプラットフォームとして発展させる
- 将来SDGsを実現する国際人材を育成・輩出する
- 国内外の流域社会における若者の意義ある参画(MYE: Meaningful Youth Engagement)の実現を図る



お申込受付：2024年7月1日～同年10月31日 ご協賛期間：ご協賛開始～2025年3月末日

ご協賛特典／ご協賛金額(消費税別)	10万円	50万円	100万円	500万円(1社、ご成約済)
① 公式ウェブサイトへのロゴ・社名掲載 (2025年度の動画募集開始迄)	○	○	○	○
② プレスリリースへの社名掲載	○	○	○	○
③ 年次報告書へのロゴ・社名掲載 (2025年6月末発行予定)	○	○	○	○
④ 動画制作の手引き(教材)にロゴ・社名掲載 (2024年度末発行予定)	—	○	○	○
⑤ シンポジウム「水未来会議2024」開催告知媒体にロゴ・社名掲載 (2024年8月10日 開催予定)、	—	○	○	○
⑥ 国際交流イベント開催等の告知媒体にロゴ・社名掲載 (時期未定)	—	—	○	○
⑦ 「ユース水フォーラム」公式写真使用权	—	—	○	○
⑧ 「ユース水フォーラム2024」冠スポンサー権 「ユース水フォーラム2024」参加者への配布物提供権 「第10回世界水フォーラム」現地参加に係る「特別協力」名義	—	—	—	○

※ご寄付も承ります(税制優遇対象)。詳細は、別途お問い合わせください

※ご協賛開始時期により、製作等日程が終了した特典はご提供できない場合がございます。予めご了承ください

※冠スポンサー権はご成約済みです。今後のご予約等についてはお問合せください

① 公式ウェブサイト (日英)



① 公式ウェブサイト 日英TOPページ協賛エリアに掲載します
日本語ページ(左図) <https://www.waterforum.jp/ywf/>
英語ページ <https://www.waterforum.jp/ywf/en/>

- ✓ ご協賛者様ロゴ掲載エリアを開設
- ✓ ロゴを掲載させて頂くとともに、
- ✓ 貴社ウェブサイトへのリンクも設置いたします
- ✓ 掲載期限:2025年度の動画募集開始まで

動画募集受付終了後、この
エリアはクローズいたします。

←ご協賛者様ロゴ掲載エリア
掲載イメージ→



② プレスリリース ③ 年次報告書



【取材のご案内】
高校生たちと、国連水会議に向けてシンポジウムを開催します！
初開催 水未来会議 2023 世代を超えて考える水問題の未来
2023年2月4日（土）15:00～18:00（14:30開場） 内田洋行本社



特定非営利活動法人日本水フォーラム（東京都中央区、事務局長：竹村公太郎）は、来る2月4日（土）、株式会社内田洋行新川本社 エビネクス通商ビル CAVAS（東京都中央区新川2丁目4番7号）にて、シンポジウム「水未来会議 2023 世代を超えて考える水問題の未来」を開催します。

当シンポジウムは、**第4回アジア・太平洋水サミット（2022年4月、熊本市）**の開催を機に、2021年度から新たに開始した**人材育成・啓発プログラム「ユース水フォーラム」**の活動の一環です。活動2年目となる今年度は、初めて開催するシンポジウムです。基調講演に審議院議員上川陽子氏をお迎えするほか、今年度の応募作品発表や、高校生を交えたパネルディスカッションを実施します。来る**「国連水会議」19月22～24日、国連本部、ニューヨーク**での、「ユース水フォーラム」展開についても発表予定です。

ご多忙のところと存じますが、当シンポジウムは是非ご取材頂きたいと、ご案内申し上げます。随時ご取材頂けます場合は、お厭いありませんが、取材申込書に必要事項を明記の上、土曜17時（金）17:00までにメールにてお知らせくださいますようお願い申し上げます。

「ユース水フォーラム」とは
▶ 日本水フォーラム（特定非営利法人）が実施する人材育成・啓発プログラムです。
▶ 活動内容
・全国の高校生世代の皆さんが制作した水に関するテーマを伝える動画（英語）を公開
・応募作品を、ウェブサイトでSNSで、インターネット上で公開・発信
・水に関するテーマを共に学ぶエクスカーションを実施
・動画発表会（シンポジウム等）を実施
・国際会議への参加、発表
▶ 活動目的：「ユース水フォーラム」への参加を通じて、高校生世代の皆さんに同僚、500名を実現する人材となって頂くことを目指します。2022年度から新たに必修科目とされた「地理総合」等の学習の一助となることも目指しています。
▶ 応募動画数：初年度 30 作品、今年度約 20 作品
▶ 今年度協賛：鹿島建設株式会社、株式会社竹中工務店、東京エレクトロン九州株式会社

② プレスリリース例（2023年1月26日実施）

左図、<https://www.waterforum.jp/pdf/cdar/ywf22-20230204-press.pdf>

- ✓ 発表資料にご協賛者様社名を掲載いたします
- ✓ プレス実施の予定（現時点での予定です）
 - ・水未来会議2024開催数週間前（2024年7月）
 - ・ユース水フォーラムアジア開催1か月前

③ 「ユース水フォーラム」 実施報告書例（2022年4月発行）右図、

<https://www.waterforum.jp/pdf/cdar/2023/YWF2022-report.pdf>

- ✓ 2024年度については、2025年6月末発行予定
- ✓ デザイン・仕様等は未定



④手引き（教材） ⑤シンポジウム開催告知 ⑥国際交流会開催告知

④動画制作の手引き(教材)コンテンツイメージ、下
公式インスタグラムで試行中、2024年度末に発行予定

⑤シンポジウム「水未来会議2023」開催報告例、中央
<https://www.waterforum.jp/news/20273/>

⑥国際交流会「ユース水フォーラムアジア」開催チラシ例
(2023年)、右
<https://www.waterforum.jp/pdf/cdar/2023/YWF23-YWFA-Kumamoto-231111-jp.pdf>



【世界水フォーラム概要】

- ・世界中の水に関する関係者が一堂に集い、水に関わる様々な問題への対処について議論。
- ・参加者は、各国元首・閣僚級を含む政府機関、国際機関・企業・NPO等
- ・3年に1度、世界水の日(3月22日)前後に開催
- ・主催は、WWC(世界水会議※)及び開催国

※世界水会議(水分野の専門家や国際機関の主導のもと1996年に設立された国際NGO)

【これまでの日本の参画状況】

国連「水と衛生に関する諮問委員会」名誉総裁を務めておられた皇太子殿下のご臨席、日本水フォーラム会長(元総理)の総理特使としての出席、大臣級(国交、環境等)のご参加をはじめ、学术界・民間企業・NGOなど参加多数。

日本の実績や強みをアピールし、日本の存在感を国際社会に示す上で大きな効果を上げている。

【開催状況(開催地・参加国・参加者数)】
主催国発表 ※登録者数

第1回(1997)モロッコ	63カ国	500人
第2回(2000)オランダ	114カ国	0.6万人
第3回(2003)日本	183カ国	2.4万人
第4回(2006)メキシコ	168カ国	2.0万人
第5回(2009)トルコ	192カ国	3.0万人
第6回(2012)フランス	173カ国	3.5万人
第7回(2015)韓国	168カ国	4.0万人
第8回(2018)ブラジル	172カ国	1.0万人※
第9回(2022)セネガル	未発表(コロナ禍)	
第10回(2024)インドネシア	160カ国	2.0万人※
第11回(2027)サウジアラビアにて開催予定		



閣僚級会合イメージ



皇太子殿下ご講演(第8回)